

佳作 日本で夢を叶えた英語講師



シャラ ディッラ

SYARA DILLA

国 籍 インドネシア

職 種 ビルクリーニング

実習実施者 株式会社ピークルーエッセ

監 理 団 体 広昌会協同組合

私は英語学科を卒業しました。教育は人生を変える道だと思います。だから、卒業した後、私は自分の町で英語の先生になりました。私はいつも楽しくて分かりやすい方法で授業をしました。生徒たちは私の授業が好きです。

私はよく生徒たちに言いました。「英語はただの授業ではありません。でも、世界を見るための窓です。」

しかし、その言葉の裏で、私はまだ本当に世界を見ていないように感じていました。給料は少なく生活費はとても高かったです。私は心の中で「このままずっと同じ生活なのだろうか。」と考え始めました。

その答えは日本でかいごの仕事をしているいところから来ました。いところは日本での生活や本当のチャンスについて、よく話してくれました。

それから、私はモチベーションがあがりました。両親を幸せにしなければならぬ。授業が終わって家に帰っても、すぐに休みませんでした。私は一人で日本語の文字をゼロから勉強しました。ひらがなやカタカナそして難しい漢字まで覚えました。

前は「本当に日本へいけるのかな。」と不安になることもありました。でも、両親はいつも支えてくれました。

「きっとできるよ。」と言ってくれました。その時から、私は自分に約束しました。あきらめずに頑張って、この夢を必ず続けました。

そして、私の努力は報われました。私は容易ではない手順をふんで、私は日本で働くことができるようになりました。これまでの努力や疲れ、そして、不安がやっと報われました。

初めて日本にきました。冷たい空気が私をむかえて町のライトは明るく輝いていました。すべてがとてももちがって感じました。

しかし、日本での毎日はいつも簡単ではありませんでした。新しい文化やちがう言葉、そして、速い仕事のリズムに慣れなければなりません。時には寂しさや疲れを感じて帰りたくなることもありました。

あきらめなくなるたびに、私はなぜ始めたのかを思い出しました。もっと学んでもっとよく働いて、そして前よりも強い人間になりました。

今、私はもう英語の先生ではありません。しかし、日本の生活の一部になりました。これは、昔はSNSで見ることができなかった日本です。今は、その日本を自分の目で直接見ることができます。

夢は自分で行動しなければ、かなえられません。そして、日本の空の下で、小さな町の先生が、夢は決して遠くないと証明しました。勇気を出して一歩を踏み出せば、夢はきっと近くにあります。

みなさん、あきらめずに頑張ってください。夢見ている未来は、あなたを待っていて、そのために努力する価値があります。